

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	ライブハウス音響概論	授業形態 / 必・選	講義	必修
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	42回(84単位時間)	年間単位数 5単位
科目設置学科コース	≪音楽芸能スタッフ科≫ ライブハウスコース			
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目	該当	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当 <input type="checkbox"/>
担当講師 実務経歴	実務経験:30年 ライブハウス・PA会社など数多くの多彩な現場で活躍し、 都内のライブハウスの立上げにも携わっている。			
授業概要				
実践に関する技術の知識や、作業をする上での知識などを学ぶ。				
到達目標				
音響に関する基礎知識の修得。				

授業計画・内容	
【前期】 1～5回目	音響機材について ・ マイクフォン(ダイナミック、コンデンサー)の種類について ・ ダイレクトボックスについて ・ 各種コネクターやケーブルについて
【前期】 6～10回目	音響機材について ・ ミキシングコンソールについて ・ 音の三大要素について ・ スピーカーの構造、規格、種類。マルチウエイシステム、ラインアレイについて
【前期】 11～15回目	音響機材について ・ 各種エフェクターについて ・ ブロックダイアグラムについて ・ インピーダンス、トランスについて ・ 電気について
【前期】 16～20回目	音響機材について ・ 音響心理、デシベル、メーター、VCA、Ωの法則 ・ デジタルオーディオ
【後期】 1～4回目	LIVE本番・実践に関すること ・ 回線チェックの仕方 ・ マイクの狙いかたについて
【後期】 5～8回目	LIVE本番・実践に関すること ・ 音作りについて ・ モニタースピーカーの設置の仕方
【後期】 9～12回目	LIVE本番・実践に関すること ・ 回線表の作成の仕方 ・ テスターの使い方
【後期】 13～16回目	LIVE本番・実践に関すること ・ 卓のイコライザーの操作の仕方 ・ 各種機材の操作の仕方
【後期】 17～22回目	LIVE本番・実践に関すること ・ PAの仕事の細かい作業の流れについて
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	支給iPad・カラーマーカー・クリアファイル持参
使用教科書	オリジナルPDFテキスト

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	ライブハウス照明概論		授業形態 / 必・選	講義	必修
			年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	42回(84単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置学科コース	≪音楽芸能スタッフ科≫ ライブハウスコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目		該当 <input checked="" type="checkbox"/>	非該当 <input type="checkbox"/>	
担当講師 実務経歴	実務経験:12年 都内のライブハウスや各種イベントなどで照明オペレーターとして活躍 また様々なアーティスト専属オペレーターとして従事。				
授業概要					
実習「ライブハウス照明実習Ⅰ」を行うにあたって必要な基礎知識を学ぶ。					
到達目標					
ライブハウスで照明業務を行う為の基礎知識の修得。					

授業計画・内容	
【前期】 1～5回目	照明基礎知識に関する項目 ・照明機材の名称や特徴 ・舞台空間の構造と名称 ・業界特有の用語
【前期】 6～10回目	・安全に作業する為の注意点 ・カラーフィルターの種類と特徴
【前期】 11～15回目	・照明の設置場所 ・ホール資料・図面の読み取り方
【前期】 16～20回目	・色彩表現のイメージワーク ・シーンを構成する明かり
【後期】 1～4回目	・照明チームの一日の動き ・譜割り練習
【後期】 5～8回目	・課題曲プランニング・プランニングの考え方 ・光のコントロールとオペレート
【後期】 9～12回目	・DMXの基礎知識 ・デジタル機材に関する導入
【後期】 13～16回目	・光源の種類 ・電気の基礎
【後期】 17～22回目	企画イベント実施のための項目 ・企画イベントに向けての仕込み構想 ・イベント当日の作業に関する打ち合わせ
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	支給iPad・カラーマーカー・クリアファイル持参
使用教科書	オリジナルPDFテキスト

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	ライブハウス制作講座 I	授業形態 / 必・選	講義	必修	
		年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	80回(160単位時間)	年間単位数	10単位
科目設置学科コース	≪音楽芸能スタッフ科≫ ライブハウスコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目		該当 <input checked="" type="checkbox"/>	非該当 <input type="checkbox"/>	
担当講師 実務経歴	実務経験:32年 全国のライブハウス現場で活躍し、多くの若手アーティストを発掘し世に送り出している。 自身もライブハウスを経営し今後の音楽シーンをより一層盛り上げていっている。				
授業概要					
音楽業界における各業種の仕事内容、音楽史でブルースから現代音楽の遍歴を学ぶ。					
到達目標					
ライブハウスでの仕事の流れの理解、メールマナー等一般常識の修得。					

授業計画・内容	
【前期】 1～10回目	音楽業界基礎 ・レコード会社、プロダクション、出版会社、イベンターなどの仕事内容
【前期】 11～20回目	音楽業界基礎 ・各仕事の仕組みや他との関係性
【前期】 21～30回目	音楽業界基礎 ・各仕事とライブハウスや音響、照明との関わり方
【前期】 31～40回目	音楽史 ・ブルース、ロックンロール、R&B、ソウル、ジャズなど年代や成り立ち、主要アーティストの映像およびジャンルにおける背景など
【後期】 1～8回目	イベント制作 ≪イベント準備≫ ・ライブハウス規模でのイベントの組み方 ・バンドの選び方、誘い方
【後期】 9～16回目	イベント制作 ≪イベント準備≫ ・メールマナーの学習、バンドのブッキングの実践 ・イベントのイメージ作りや概要作り
【後期】 17～24回目	イベント制作 ≪イベント準備≫ ・セット図の作り方 ・タイムテーブルの作り方 ・宣伝方法 ・フライヤー作り
【後期】 25～32回目	イベント制作 ≪イベント当日≫ ・円滑な進行、PA・照明との伝達方法 ・舞台上立ち位置決め、楽器のセットアップの仕方
【後期】 33～40回目	イベント制作 ≪イベント当日≫ ・バンドの転換時における楽器の動かし方、スペースの使用方法 ・バンドに対して、ケータリング含む楽屋の作り方・アattend方法
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	ライブハウスで一つの「イベント」を作るには、様々な準備と多くの能力が必要とさせます。 基礎から学び応用に至るまでクラスがチーム一丸となって学んでいきます。
使用教科書	オリジナルPDFテキスト

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	クリエイティブPC講座 I	授業形態 / 必・選	講義	必修
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	80回(160単位時間)	年間単位数 10単位
科目設置学科コース	≪音楽芸能スタッフ科≫ 企画制作コース/舞台製作コース/ライブハウスコース			
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>			
担当講師 実務経歴	実務経験:27年 デザイン会社で雑誌・パンフレット制作を担当。 DTP(デスクトップパブリッシング)のデザイン制作から広告などの企画提案・制作・ディレクション業務に至る一連の業務に従事。			
授業概要				
Excel、Illustrator、Photoshop、Dreamweaver等のアプリケーションソフトの基本的な使用方法を学ぶ。				
到達目標				
イベントロゴデザイン、フライヤー&チケットデザイン作業のノウハウ修得。 Webによる広報作業の技術力の修得。				

授業計画・内容	
【前期】 1～10回目	Excel ・時間割の作成・セル内縮小・改行・関数 ・アートワード・図形描画・重なり合い・タイムテーブル作成
【前期】 11～20回目	色彩 ・RGBとCMYK・キーとの組み合わせ他・フォントの用法・ペンツール練習 ・ダイレクト選択ツール・重なり合い
【前期】 21～30回目	Illustrator ・トレース練習・図形描画・レイヤー・文字ツール・テキストエリア・整列・パス ファイン・スポイト・はさみ等・Illustrator&PDFデータ作成 入稿データ作成手
【前期】 31～40回目	Photoshop ・調整レイヤーによる補正・選択範囲の作り方・クイックマスク illustrator&photoshop 入稿データ作成
【後期】 1～8回目	web 基礎知識(Dreamweaver) ・インターネットの仕組み、ネットリテラシー等 ・拡張子による形式の違い/カラーコード 16進数
【後期】 9～16回目	web 制作(Dreamweaver) ・タグの使用ルール・基本的なタグ サンプルページの作成 ・要素・属性・値/align・imgなど・絶対パスと相対パス
【後期】 17～24回目	web 制作(Dreamweaver) ・Illustrator&photoshopでWeb用画像素材の作成 ・サンプルページ完成
【後期】 25～32回目	web 復習 CSSの使い方・違い・使い分け
【後期】 33～40回目	gifアニメの作成 サンプルページをDreamweaverを使用して作成
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	就職で必要とさせるパソコンスキル より高度な技術取得を目指していきましょう
使用教科書	学園MAC使用

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	ライブハウスPA実習 I	授業形態 / 必・選	実習	必修	
		年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	82回(164単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置学科コース	≪音楽芸能スタッフ科≫ ライブハウスコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目		該当 <input checked="" type="checkbox"/>	非該当 <input type="checkbox"/>	
担当講師 実務経歴	実務経験:17年 大小のライブハウスや各種イベントなどでPAオペレーターとしての経験が豊富。 また多くのアーティスト専属オペレーターとして活躍中。				
授業概要					
ステージ・コンソールの仕込み、回線チェックの仕方を学ぶ。					
到達目標					
マイキング、音作りの理解、バンドの対バン形式での転換のノウハウ習得。 イベントでPAを担当できる技術の習得。					

授業計画・内容	
【前期】 1～10回目	ホール・PA機材の使い方 ・ケーブル巻き(八の字巻き)の方法 ・マイクスタンドの使い方、バラシ方法 ・マイクの種類、扱う上での注意点
【前期】 11～20回目	ホール・PA機材の使い方 ・機材の電源の入れ方、入れる順番 ・卓の使い方 ・スピーカーの鳴らし方
【前期】 21～30回目	ホール・PA機材の使い方 ・卓の仕込み方 ・バミリについて ・機材チェックリストの使い方
【前期】 31～40回目	ホール・PA機材の使い方 ・回線表配布～説明 ・マルチボックス、マルチケーブルについて ・マイクの仕込み方
【後期】 1～8回目	実際のライブに向けて ・プレイバックのチェック方法 ・エフェクターのつなぎ方とチェック方法
【後期】 9～16回目	実際のライブに向けて ・回線表の通りに仕込み、回線チェックの仕方 ・モニター回線にGEQをインサート / チェックの方法
【後期】 17～24回目	実際のライブに向けて ・モニターチューニングアシストの仕方 ・サウンドチェックの流れ、マイクの立て方
【後期】 25～32回目	実際のライブに向けて ・音作りについて
【後期】 33～42回目	実際のライブに向けて ・チューニング実践練習
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	実習・イベント時の格好(黒スニーカー・黒ズボン・学園指定のTシャツ・ジャンパー、長い髪は結びアクセサリーは外す) 支給iPad・LEDライト・テスター・黒/白ビニールテープ・マジック・クリアファイル持参
使用教科書	オリジナルPDFテキスト

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	ライブハウス照明実習 I	授業形態 / 必・選	実習	必修
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	84回(168単位時間)	年間単位数 5単位
科目設置学科コース	≪音楽芸能スタッフ科≫ ライブハウスコース			
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目		該当 <input checked="" type="checkbox"/>	非該当 <input type="checkbox"/>
担当講師 実務経歴	実務経験:12年 都内のライブハウスや各種イベントなどで照明オペレーターとして活躍 また様々なアーティスト専属オペレーターとして従事。			
授業概要				
ホール常設機材を使用した照明オペレートの実践。 企画イベント実施に向けた準備。				
到達目標				
ライブハウスで照明業務を行う為の基本的な機材の扱い方の習得。				

授業計画・内容	
【前期】 1～10回目	照明基礎知識に関する項目 ・機材の名称と特徴 ・電球の特徴、交換の仕方 ・スモークマシンの扱い方
【前期】 11～20回目	照明基礎知識に関する項目 ・MIPの扱い方 ・調光卓の扱い方
【前期】 21～30回目	照明基礎知識に関する項目 ・ホール資料・図面の読み取り方 ・カラーチェンジャーの扱い方
【前期】 31～40回目	照明オペレートの実践に向けた項目 ・maXimを使用した調光卓操作の取得 ・MIPを使用したオペレート練習
【後期】 1～8回目	照明オペレートの実践に向けた項目 ・カラーフィルターの種類と特徴 ・課題曲プランニング・オペレート発表
【後期】 9～16回目	その他作業に関する項目 ・安全に作業するための注意点 ・高所作業を含む仕込み練習
【後期】 17～24回目	その他作業に関する項目 ・シュートの見方 ・信号線の配線
【後期】 25～32回目	その他作業に関する項目 ・イメージワーク
【後期】 33～44回目	企画イベント実施のための項目 ・イベント当日に使用する明かりのプランニング・プログラミング作業 ・イベント当日に行う仕込みの実験・リハーサル
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	実習・イベント時の格好(黒スニーカー・黒ズボン・学園指定のTシャツ・ジャンパー、長い髪は結びアクセサリーは外す) 支給iPad・LEDライト・テスター・黒/白ビニールテープ・マジック・クリアファイル持参
使用教科書	オリジナルPDFテキスト

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	ライブハウス実地演習 I	授業形態 / 必・選	演習	必修
授業時間	180分(1単位時間45分)	年間授業数	9回(36単位時間)	年間単位数 2単位
科目設置学科コース	≪音楽芸能スタッフ科≫ ライブハウスコース			
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目		該当 <input checked="" type="checkbox"/>	非該当 <input type="checkbox"/>
担当講師 実務経歴	各科目担当講師、及び研修先のご担当者様等。			
授業概要				
それぞれのイベント等において接客対応、現場における作業について研修を行う。				
到達目標				
現場における作業、流れ等のノウハウ習得。 イベント等を協力して作り上げることによるコミュニケーション能力の向上。				

授業計画・内容	
1～2回目	学生コンサート・ライブ実習①② 各セクションの作業内容、タイムテーブル、関連性を学ぶ
3～4回目	外部コンサート・ライブスタッフ研修 ①屋内会場 ②屋外会場
5～6回目	学園祭準備①②
7～8回目	学園祭①②
9回目	学園祭片付け、原状回復
評価方法	平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	この演習を通じて、現場における流れや、他社とのコミュニケーションの仕方等確りと学んでください。
使用教科書	当日の役割分担表、業務要項等を配布